

★★★講演会情報★★★

★第11回初心者にもわかる信頼性工学セミナー（オンライン）

第1日 2026年2月26日（木）10:00～16:00

第2日 2026年2月27日（金）10:00～16:00

オンライン開催（使用ツールはZOOMを予定）

近年、材料・構造物の強度や安全性、環境適合性に対する社会的要望が一段と高まっています。単に力学的な強度だけでなく、材料・構造物の幅広い機能に対する信頼性確保のための研究・技術開発が、活発に展開されています。

また、材料・構造物に対する負荷については不規則な場合も多く、製品の信頼性保証という品質経営にも直結するため、信頼性工学の果たすべき役割は一段と重要になっています。応用範囲の幅が広く対象要素が多岐にわたる信頼性工学の分野においては、狭い視点に偏ることなく常に広い視野をもつための多様性が求められています。

本学会信頼性工学部門委員会では、昭和52年以来、「安全性・信頼性」を共通のバックボーンとして多様な分野の研究者・技術者が一堂に会し、研究討論などの学術交流や情報交換を行う場を提供してきました。

信頼性工学では、寿命など未来を推測するための有効なツールとして主に確率や統計を用います。本セミナーでは、第1日にデータを集計・グラフ化してデータの諸元を見る基本統計量と確率から始まり、確率変数と確率分布、母数の推定と仮説の検定など、確率と統計のキホンのキから学べるようになっています。また第2日では、基本的な信頼性の特性値、信頼性設計の基礎となるシステム信頼性、製品寿命を評価する信頼性手法の中でよく使われるワイブル確率紙の原理とその解析方法、および疲労試験で必ず利用されるS-N曲線回帰法を学びます。データを分析するマニュアル的な手順を示すだけでなく、その理論や例題を含めて基礎から分かり易く説明しますので、基本的なデータ分析と信頼性手法を修得できます。

両日分 会員10,000円（学生2,000円）非会員20,000円（学生4,000円）

1日分 会員6,000円（学生1,000円）非会員12,000円（学生2,000円）

申込締切済 材料学会信頼性工学部門委員会ホームページから

<https://sinrai.jsms.jp/>

TEL 075-761-5321 E-mail jimu@office.jsms.jp 郵便振替 01000-1-26625

主催 公益社団法人日本材料学会

★AIと計測技術の融合による次世代ものづくり 基礎から応用まで

AIは製造現場の多様なデータを活用し、作業の自動化や品質の安定化、属人性の排除に貢献する技術として注目されています。特に加工・計測分野では、画像解析やセンサーデータをを用いた検査の自動化、機器診断、工程制御など、実務への応用が広がっています。本講習では、AI技術の基礎から導入時の課題、学習データの設計、品質保証との関係、加工・計測機器への応用事例まで、製造業における実践的な活用を体系的に紹介する。

2026年2月27日（金）10時00分～16時50分、交流会17時00分～18時30分

中央大学後楽園キャンパス2号館2階 2215、2221室、オンラインによるハイブリッド開催
会員・賛助会員22,000円、学生会員2,200円、非会員36,300円

会場60名、オンライン100名

主催 公益社団法人精密工学会

★第17回日本複合材料会議 JCCM-17

2026年3月3日（火）～3月5日（木）

立命館大学 大阪いばらきキャンパス

主催 公益社団法人日本材料学会

★ポリマーフロンティア21 高分子材料が切り拓く次世代モビリティの可能性

2026年3月6日（金）

オンライン開催

主催 公益社団法人高分子学会

★第313回ゴム技術シンポジウム 配合設計の基礎と応用

2026年3月6日（金） 09:55～17:00

東部ビル5F（定員30名）とZoomウェビナーによるハイブリッド開催

日本ゴム協会研究部会、配合技術研究分科会

東部ビル5F（定員30名）とZoomウェビナーによるハイブリッド開催

「スプレー乾燥により調製した天然ゴムの構造と物性」

「補強フィラーとしてイネ籾殻灰を配合したエラストマーの創製」

「ゴムの繊維接着の基礎と最近の動向」

「最先端コンピューティング×AIによるマテリアルズ・インフォマティクスを活用事例」

「ゴムのトラブルとその解析例」

受講料 日本ゴム協会会員・協賛団体会員（日本合成樹脂技術協会は協賛団体）24,200円

日本ゴム協会学生会員無料

シニア制度対象会員12,100円（60歳以上の正会員）会員外33,000円

銀行振込（三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会）

TEL03-3401-2957 E-mail kenkyuubukai@srij.or.jp

主催 一般社団法人 日本ゴム協会

★高分子学会Webinar 先端半導体パッケージング技術 プロセスと材料から

2026年3月10日（火）

オンライン開催

主催 公益社団法人高分子学会

★プラスチックプロセス分科会第105回研究会 キラリと光るプラスチックの成形加工技術

2026年3月13日（金）14:00～17:00

国立オリンピック記念青少年総合センター 414 研修室

Tel 03-3469-2525 小田急線 参宮橋駅 徒歩約7分

マッチフォーミング法によるフィルム成形の特徴と事例 知られざるプラスチックフィルムのもうひとつの成形法
植物由来のセルロースナノファイバー強化ポリプロピレン 複合材料その特性と自動車への適用可能性
非可食バイオマスとして籾殻と竹を用いたバイオマスコンポジットの評価

参加費 分科会会員無料 日本塑性加工学会員 3,000円（学生は半額）一般 5,000円

「PP・105 研究会」と標記し(1)氏名(2)会員資格(3)所属(4)連絡先を明記の上、E-mail または
Faxでお申し込み下さい

〒587-0012 大阪府堺市美原区多治井814 有限会社藤川樹脂 藤川勝也 宛

Tel 072-350-0559 Fax 072-344-5336 E-mail katsuya@fujikawa-jushi.co.jp

参加費振込先

大阪シティ信用金庫(金融機関コード1635) 初芝支店(店番号110) 普通1017242

一般社団法人日本塑性加工学会 プラスチックプロセス分科会 藤川勝也

シャ)ニホンソセイカコウガツカイ プラスチックプロセスブンカカイ フジカワカツヤ)

申込締切 2026年3月6 日(金)

主催 一般社団法人日本塑性加工学会 プラスチックプロセス分科会

★2026年塑性加工春季講演会

2026年3月18日(水)～3月20日(金)

静岡大学浜松キャンパス

テーマセッション講演と一般講演申込締切済

主催 一般社団法人日本塑性加工学会

★器具・容器包装の規格基準に関する最近の話題(消費者庁食品衛生基準審査課)

器具・容器包装のポジティブリスト制度の完全施行 ほか

2026年3月18日(水) 13:00～15:30 オンライン講演会

参加費 当会法人・個人会員無料 一般11,000円

参加申込はホームページから <https://www.jpi.or.jp/>

主催 公益社団法人日本包装技術協会

★プラスチックのケミカルリサイクルの基礎(旭リサーチセンター)

EUプラスチック戦略とこれまでに発表されたEUのプラスチック規制 ほか

2026年3月24日(火) 13:00～15:00 オンライン講演会

参加費 当会法人・個人会員無料 一般11,000円

参加申込はホームページから <https://www.jpi.or.jp/>

主催 公益社団法人日本包装技術協会

★第32回包装新人研修コース 包装にこれから携わる人の入門講座

2026年4月9日(木) 10日(金) 2日間

日本包装技術協会A会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10階(東銀座駅近く)

4月9日10:00～17:30

包装の役割と包装を取り巻く現状

包装に求められる包装材料

生活者にやさしい包装 ユニバーサルデザインとは

4月10日10:00～16:30

包装を取り巻く規制・法律について

包装設計の基礎と考え方 設計技法と事例

輸送環境と包装

商品企画とパッケージデザイン 商品づくりのポイントとデザインの関わり

受講料 会員企業39,600円 一般50,600円 各昼食2日分含む

参加申込 包装新人研修コース係 TEL 03-3543-1189 e-mail sakamoto@jpi.or.jp

ホームページ <https://www.jpi.or.jp/>

締切 2026年3月27日（金）ただし定員になり次第締切

主催 公益社団法人日本包装技術協会

★精密工学会450回講習会「NC加工のための必須スキル！CAD/CAMの基礎と最新動向」

オンデマンド形式のオンライン配信のため、視聴期間内であれば、受講者のご都合に合わせて繰り返し視聴いただけます。

開催期間 2026年5月13 日（水）10:00～5月29日（金）17:00

本講習会はBox というクラウドサービスを用いてオンライン開催いたします。

Box 内の指定フォルダへアクセスすることで、オンデマンド形式での閲覧が可能になります。

視聴およびテキストダウンロード用のURL情報は、参加申込時に登録いただいたメールアドレスに追ってご連絡いたします。

NC加工のためのCAD/CAMの基礎

二次元CAD/CAMの基礎と現状～NAZCA5に学ぶNCプログラム作成の実務と最新動向～

CAM 利用を想定したCAD モデルの作成・編集

エンジニアリングデータをつなげる技術の現状と動向

自由曲面上のパス生成

機械加工の完全自動化のコア技術となる自動工程設計システム

高品位・高効率5軸制御加工を実現する工具姿勢制御と最適化技術

指向性エネルギー堆積型金属AM・切削加工の複合加工のための工程

設計・加工支援システム

ホームページからお申込みください。申込締切2026年5月26日

<https://www.jspe.or.jp/custom-event/event-16225/>

参加費 会員（賛助会員および協賛団体会員を含む）22,000円 学生会員2,200円 非会員36,300円（同時入会申込で参加費割引特典あり）学生非会員7,700円（会員・学生会員・非会員・学生非会員とも講習会テキストを含む）

協賛団体（日本合成樹脂技術協会は協賛団体）ご所属の方は会員価格にてご参加頂けます。

主催 公益社団法人精密工学会

★プラスチック成形加工学会年次大会

今大会のスローガンは「Beyond Limits:材料・加工技術とデータで描く次世代社会」としました。このスローガンには、私たちがこれまでの技術の枠組みを超え、材料の可能性を追求し、加工技術とデータサイエンスの融合によって未来社会を形作るという挑戦の精神が込められています。プラスチック産業は、自動車、電機機器、情報通信、包装材料、さらにはコンピュータやデータサイエンスといった多岐にわたる分野で欠かせない存在となり、現代社会の基盤を支えています。特に近年では、環境負荷低減や持続可能性への対応が求められ、リサイクル性や生分解性を備えた新素材の開発が急務となっています。また、データサイエンスやAI技術の進展により、成形加工のプロセスは大きな変革を迎えています。これまで経験と勘に頼っていた設計や加工が、データ駆動型のアプローチへと移行し、効率化と高精度化が進んでいます。本大会では、こうした技術革新を共有し、次世代社会のビジョンを描く場としたいと考えています。

今回の年次大会では、近年注目の技術に関する4つの特別セッションを予定しており、これからの新しい成形加工技術について議論を深めてまいります。

また、特別講演では、これからの安全で豊かな未来社会の実現に向けて、避けては通れない自動車リサイクルの最新動向ならびにリサイクル技術に関して、一般社団法人日本自動車リサイクル機構からご講演いただく予定です。これらの講演が、参加者の皆様に新たな知見を提供し、未来へのインスピレーションを与えられる年次大会となるよう努めてまいります。年次大会の詳細につきましては、本WEBサイトや学会誌会告にてお知らせいたします。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

2026年6月24日（水）～25日（木）

タワーホール船堀（東京都江戸川区船堀4-1-1）

講演申込締切済

予稿原稿投稿 2026年3月2日（月）～ 2026年4月17日（金）（予定）

参加登録 2026年3月23日（月）～ 2026年6月25日（木）ウェブ登録のみ

プログラム公開日 2026年5月20日（水）（予定）ウェブ公開版

講演予稿集発行日（公開日）2026年6月17日（水）（予定）ウェブ公開のみ

第37回年次大会事務局 TEL 03-5436-3822 e-mail annual2026@jspp.or.jp

主催 一般社団法人プラスチック成形加工学会

★型技術者会議2026 テーマはあなたとつくる未来の「型（かたち）」

2026年6月25日（木）～26日（金）

AP浜松町

講演申込締切済 講演論文原稿締切 2026年4月6日

講演申込 ホームページよりオンライン 型技術協会のホームページをご確認ください。

主催 一般社団法人型技術協会

※※※講演会内容は必ず各団体のホームページをご覧下さるようお願いいたします※※※

（日本合成樹脂技術協会会員と申し出れば各団体会員扱いになることがあります）